



東中学校 学校だより



7月号(令和6年7月5日発行) 学校HP

TEL 042-471-2765 FAX 042-472-7995

いっきのこう 一簣之功

校長 中川 義弘

令和6年度1学期も残り2週間余りとなりました。連日熱中症が心配される中、生徒のみんなはたくましく充実した学校生活を過ごしているようです。新しい学年・学級でスタートした今学期、6月に行われた運動会をはじめ、一つの行事や日々の授業、部活動や委員会活動など、意欲的に取り組む人が多く見られました。その要因の一つは最上級生の3年生が下級生をリードしてくれたことだと思います。自身の進路のことも考えながら日々前を見て過ごしています。2年生は中堅学年として中だるみになることなく先輩ぶりを発揮してくれています。そして、1年生もそんな先輩達を見習い、東中生としてたくましく成長している姿が見られます。

そんな1学期の締めくくりとなる7月、3年生の学級委員会の目標に「一簣之功」という言葉が廊下に掲示されていました。「仕事をやり遂げるための最後のひとふんばり」と言葉の意味も書かれていました。もとは中国の歴史書「書経」にある「九仞^{きゅうじん}の功を一簣^{いっき}に欠く」が出典です。九仞とは非常に高いこと、簣とは土などを運ぶ竹籠で、意味は高い山を築くのに、最後の一杯の土を欠けば完成しない。つまり、仕事を完成させるために積み重ねる一つ一つの努力の大切さと仕上げが肝心である、最後まで努力を怠るな、という戒めの言葉です。ここまでくればもう安心、と油断していて、思わぬ困難に足元をすくわれ思い描いていた結果を得られなかったり、こんなはずではなかったのにと後で後悔することになったり、ということは起こり得ることです。スポーツ競技では、最後の最後に逆転負け、ということもよくあります。これまで続けてきた努力をこれからも淡々と続けていく、その積み重ねを大切にしていきたいものです。

そして、もう一つ忘れてはならないことは、決して自分一人だけでは、ことを成し遂げられないということです。この一学期、周りの友達や保護者、学校の先生など周りの人たちとのかかわりを通して成長してきたはずです。そして、これからも支えてくれる人が周りにいることを忘れずに、努力を継続して行って下さい。積み重ねる努力と感謝の気持ちを大切に、1学期を締めくくりましょう。

○生徒会主催によるボランティア(朝ボラ)

6月12日(水)生徒会主催による地域清掃のボランティアが今年も行われました。当日は36名の生徒が参加してくれました。分散してゴミを拾い集め、地域の美化に貢献してくれました。



○期末テストに向けての取組

6月26日(水)から行われた期末テストに向けて、放課後質問教室が実施されました。5教科の先生にテストに向けて分からないところを質問する生徒が見られました。また、昼休みにテスト勉強に自主的に取り組む3年生の姿も見られました。家でのテスト勉強時間に応じて色を塗りながら見える化しているクラスもありました。



○9組の調理実習

6月26日(水)、9組は今年度最初の調理実習を行い、おにぎりとお味噌汁を作りました。みんなで協力してとてもおいしく作ることができました。



○生徒の活躍

サッカー部都大会出場決定!

サッカー部は11ブロック夏季大会において準優勝の結果を収め、都大会への出場が決まりました。南中との合同チーム全員が一丸となり最後までよく頑張り抜きました。都大会での活躍もみんなが応援しています。

男子バドミントン部 5位入賞

男子バドミントン部の●●●●さん、●●●●さんは11ブロック選手権大会ダブルスで5位に入賞しました。おめでとうございます。

